

あやなり

a y a n a r i

文教大学学園
卒業生向け広報誌

2015.7.31 第2号

発行：文教大学学園

編集：経営企画局 校友会室



[特集1] 懐かしい先生方の今をお伝えします

恩師便り 先生！お久しぶりです

[特集2] キャンパスの「今昔」写真館

文教今昔物語 おもいで学舎

- 02 学園理事長の挨拶
- 03 文教大学学園の概要
文教 HOT Topic
- 04 文教人 / 127,000
- 10 らいふ+ぷらす
- 16 校友会の輪
- 18 学園 NEWS

文教大学学園を卒業された
皆様へ向けての広報誌、
「あやなり」第2号をお届けします。
文教大学学園の各校の情報や、
卒業生・退職された先生方のインタビューなど、
楽しんでいただける内容を
掲載いたしました。
この「あやなり」が人と人、
人と学校をつなぐ場であればと願っています。

あやなり ayanari

文教大学学園卒業生向け広報誌

あやなりとは

「あや(文=文教)は人なり」という想いを込めて。いにしえの時代、「あや・文」は物の面にあらわれたいろいろな形、様々な線が交錯した模様を指す言葉として使われました。「あやなり」も様々な情報を発信し、皆様の目を楽しませる冊子を目指します。

「あやなり」第2号をお届けします 文教大学学園 理事長 渡辺 孝

昨年7月、文教大学学園の卒業生や退職教職員の皆様向けの広報誌として「あやなり」が創刊されました。創刊号は約8万部を印刷・配布しましたが、お読み頂いた方々からは、「幼稚園から大学・大学院までのトータルの機関誌創刊はとてよい」「これまでバラバラだった学園の一体感が大分感じられるようになった」等のご評価の声が数多く寄せられております。他方で、「対象が広すぎてまだピンとこない」といったお声のほか、「自分達が学生時代教わった先生方の現状をもっと知らせしてほしい」「卒業生の活躍の状況をもっと知りたい」等のお声も聞かれています。

今回はこうしたお声も念頭に読者の皆様方により興味を持ってお読みいただけるように種々見直しを行いました。まだまだ改善すべき点等があるかと存じます。今後更に皆様方のご要望をお聞きしつつ、「あやなり」が学園の卒業生や退職教職員の方々の一層の連携強化や更には学園の発展の一翼を担えるよう努力して参りたいと思っております。今後も宜しくご支援を賜りますようお願いいたします。

文教大学学園 2015年5月1日現在

文教大学附属幼稚園

開設：1927(昭和2)年
園児数：158名
園長：柳 久美子
所在地：旗の台キャンパス
〒142-0064
東京都品川区旗の台3-2-17
Tel：03-3781-2798



※完成イメージ図(2015年8月竣工予定)

文教大学附属小学校

開設：1951(昭和26)年
児童数：248名
校長：島野 歩
所在地：石川台キャンパス
〒145-0065
東京都大田区東雪谷2-3-12
Tel：03-3720-1097



文教大学附属中学校高等学校

[中学校]
開設：1947(昭和22)年
生徒数：424名
[高等学校]
開設：1948(昭和23)年
生徒数：757名



校長：星野 喜代美
所在地：旗の台キャンパス
〒142-0064 東京都品川区旗の台3-2-17
Tel：03-3783-5511(代)

文教大学・大学院

開設：1966(昭和41)年
学生数：
教育学部 1,495名
人間科学部 1,903名
文学部 1,681名
情報学部 1,649名
国際学部 1,153名
健康栄養学部 425名
経営学部 374名
専攻科教育専攻科 4名
外国人留学生別科 21名
大学院 95名
(大学・大学院合計 8,800名)



越谷キャンパス



湘南キャンパス

学長：野島 正也
所在地：
[越谷キャンパス]
〒343-8511 埼玉県越谷市南荻島3337
Tel：048-974-8811(代)
[湘南キャンパス]
〒253-8550 神奈川県茅ヶ崎市行谷1100
Tel：0467-53-2111(代)

文教 HOT Topic

文教大学学園の今一番ホットなトピックをお届けします！

小学校／中学校教員採用者数 私立大学 全国第1位！

2015年4月14日発売「大学ランキング2016」(朝日新聞出版)によると、教員採用者数(2014年大学通信調べ→2013年度実績)は以下の通りでした。

小学校

8年連続
私立大学
全国第1位

国公立	全国第3位 (248人)
1	大阪教育大 287人
2	愛知教育大 271人
3	文教大 248人
4	岐阜聖徳学園大 240人
5	北海道教育大 227人
6	東京学芸大 222人
7	福岡教育大 179人
8	千葉大 171人
9	埼玉大 146人
10	四天王寺大 129人
11	岡山大 124人
12	玉川大 121人
13	都留文科大 120人
14	京都女子大 119人
15	東京福祉大 114人
16	佛教大 112人
17	宮城教育大 111人
18	武庫川女子大 110人
19	静岡大 105人
20	広島大 102人

中学校

2年連続
私立大学
全国第1位

国公立	全国第4位 (123人)
1	北海道教育大 163人
2	愛知教育大 151人
	大阪教育大 151人
4	文教大 123人
5	日本大 121人
6	東京学芸大 105人
7	新潟大 93人
8	日本体育大 83人
9	広島大 81人
10	大阪体育大 80人
11	静岡大 78人
12	福岡教育大 76人
	東海大 76人
14	埼玉大 74人
	信州大 74人
16	岡山理科大 72人
17	早稲田大 71人
18	立命館大 69人
19	千葉大 67人
	筑波大 67人

18-19ページにも
タイムリーな学園のニュースが目白押しです。
そちらもぜひご覧ください。

文教人

127,000

卒業生の数だけ文教人がある!

幼稚園から大学院までを擁する文教大学学園。卒業生は12万人を超え、全国の様々なジャンルで活躍しています。そんな「文教人」を追って、インタビューを行うこのコーナー。今回は各業界の第一線で活躍する6人のプロフェッショナルに焦点をあて、仕事の流儀などをうかがいました。



人との関わりの中で、自分の魅力や持っている素質を発見

清水 ミチコさん

しみず・みちこ
タレント、女優

文教大学女子短期大学部家政科 1980年卒業



強く求めて進んだ道ではないが…

「自分はどうしても歌手になるんだっていう人もいられるかもしれないけど、私の場合は周りの人の反応を見て、喜んでもらえる方向に進んだっていうかね。需要と供給という言葉があるように、人との関わりの中で自分の魅力だとか、持っている素質だとかを引き出して、その方向に自分を専念させて行った。そんな感じがしますね」

短大卒業後、アルバイト先の人の紹介から、ラジオ番組の放送作家の仕事を始め、それがお笑いの世界に入るきっかけになった清水ミチコさん。構成作家としてネタを書きつつ、モノマネなどのしゃべりが「はるかに、すごく受け」、次第に

番組にも出演するようになっていった。デビューから28年。テレビ、ラジオ、ライブ、執筆などマルチな活躍ぶりは周知の通りだ。

芸能が好きという気持ちが活動の支え

「何年前かに長野で公演をしたことがあって、短大の友達に来てくれたんですね。そしたら手紙をくれて、あの当時からピアノは弾いていたけれども、遠慮がちだったあなたがよくこんな世界に入りましたねって書いてあって。そんな風に見られていたんだと思いました」

短大時代、隣の児童科にはピアノが置いてあり、それを「弾きまくっていた」と言う。また、「お前のおもしろさは東京では通用しない」と言われ上京したが、会話の中で口にした一言を、友人たちが笑ってくれたことが大きな自信にもなった。「芸能人になりたいっていう人はすごく多いんですけど、なってしまうと意外に飽きてしまう世界なんですね。それが長く続いているのは、芸能が好きっていう部分がすごく強いと思います。芸能界ではなく芸能が好きなの、本当に」



◆10枚目のCD「趣味の演芸」発売中
(ソニーミュージック・ダイレクト)

◆2年ぶりの全国ツアー
「清水ミチコ一人フェス 2015」
10月より、広島、石川、新潟、北海道、大阪、愛知、福岡、沖縄を予定。詳細は4325.netをご覧ください。なお、東京公演は12月を予定しています。



何ものにも代え難い、ものづくりの現場の高揚感

唐橋 充さん

からはし・みつる

俳優、イラストレーター

文教大学人間科学部人間科学科 2000年卒業

絵看板描きの夢を追って

俳優、イラストレーターとして活躍する唐橋充さんは、6月の舞台に向けて稽古の真っ最中だった。小学生の時に映画館で見た映画の絵看板に魅せられ、絵看板描きの夢を追って早稲田大学演劇研究会に入ったのは、文教大学3年生の時。もっぱら美術スタッフとして関わりながら、コマーシャルに出演したことなどがきっかけとなって、次第に演技の勉強もするようになっていった。

「3年生の時、卒業に必要な単位をほぼ取り終えたので、他大生も受け入れていた早稲田大学の演劇研究会に入会しま



今号の表紙イラストは唐橋さん作!



◀テーマは、「タマゴの殻のような月の乗り物」。学園での生活を通じて、殻を破って羽ばたく文教人。というメッセージが込められています。左右の衛星は、越谷、湘南のキャンパスを象徴しています。

した。穏やかで朴訥とした友人が多かった文教大。かたや、演劇論が火花を散らすかつて堺雅人さんも所属したプロ志向の集団。この対極を行き来するのは刺激的でした」

手応えのある仕事とは

卒業後は出版社でイラストの仕事をごなしながら、夜は早大劇研で身体訓練や木工作業に没頭する日々。こうしてイラストレーターと俳優業という両輪が、できあがっていく。

「煙たがられるだろうからと、何事も突き詰めることを避けていたのですが、仮面ライダーの撮影チームに「とことんやっつけていい」と言われ、感激したのを覚えています。各セクションのものづくりのプロたちは時間のない中、更にちょっとひと手間かけて完成させる。この熱気と高揚と責任を共有する感覚には、いつも、何度も感動します」

いま、40歳を前にして、俳優を続けて行くかの岐路に立っていると感じつつも、これほど手応えのある仕事はほかにはない。時間と戦いながら続けたいと、新たな決意を語ってくれた。

お仕事アイテム

スケッチブック

学生時代、スケッチブックを持ってキャンパスを歩く自分に酔いしていました(笑)。当時と同じものを現在も使っていて、イラストの仕事はスケッチブックに鉛筆で下絵を描き、それをスキャンしてデジタルで彩色するという方法をとっています。



販売部は出版部数を最終決定する仕事。責任重大ですが達成感も大きい

Webサイトでマスコミ対談公開中！ <http://www.bunkyo-ayanari.jp>

「あやなり」Webサイトにて、光文社勤務で文教大学ビジネス同友会の発起人である竹内氏とのマスコミ対談が実現！そちらもぜひご覧ください。

野中 久幸さん

のなか ひさゆき
集英社 書籍販売部部長代理
文教大学情報学部広報学科 1984年卒業

「大学時代、あれほど時間があつたのに、なぜもっと本を読まなかったのか。情報学部広報学科を1期生として卒業後、大手出版社・集英社に入社した野中久幸さんは、少なからず後悔した。販売部に配属されてからは、ベストセラーには必ず目を通し、どこが読者を惹きつけたのか、売れた理由は何か、徹底的に分析するようになったという。コミックス販売を担当している時、『ワンピース』が爆発的ヒットを記録。折しも「2億冊突破キャンペーン」を打ち出す2011年頃だ。「一つのマンガには、編集をはじめ、営業、広告など、さまざまな人間が関わりますが、どれだけの部数を刷るのか、最終的に数字を決めるのは販売の仕事です。過去のデータも参照しますが、どこまで踏み込むのか、どこまで数字を乗せるのかは、ギャンブルに近い。『ワンピース』がいちばん売れた時は、毎月1巻ごとに5万部ほど重版しました。その当時に60巻くらいまであったので、重版だけで月に300万部刷ることになる。その結果、もし余らせてしまったら返品になり、本は断裁。かなりの重責でしたが、その分、達成感も大きかったですね」と振り返る。出版不況が叫ばれて久しいが、「本当に実感したのはここ1年。増税の影響は想像以上だった」という。これまでの経験や蓄積を踏まえながら、急激な業界の変化にも適応していく姿勢が求められる。出版のあらたな光明を見出すべく、野中さんの模索は続く。

お仕事アイテム

手帳とスマートフォン

凸版印刷から毎年もらう大判の手帳は、スケジュールを書き込む欄が大きく、数十年愛用しています。数字に関する資料も間に挟んでいるので、失くしたら大変です。スケジュールはスマートフォンとパソコンにも入力しています。



母校の教壇に立って 40年の教員生活

菅沼 すみ子さん

すがぬま すみこ
文教大学付属高等学校教頭
立正学園女子高等学校 1972年卒業

幼稚園から高校までの、実に15年間を立正学園で過ごした菅沼すみ子さん。大学卒業後は再び母校に戻り、付属中学校高等学校の国語の教員として教壇に立つ道を選んだ。もっと勉強して、新しい世界を知りたい。そうした思いで、後輩たちの前に立ったという。

「当時の学校には、女の子はそこまでしなくていいよ…という空気があったと思うんですね。でもそうではなくて、女の子であっても勉学を通して視野を広げ、生きる力や生きる方向性についてしっかり考えてほしいという強い思いがありました」

それから約40年。現在は高等学校の教頭として教員たちをまとめる一方で、授業という現場ではどうやったら生徒の興味を惹くことができるか悩み、毎日新鮮さを感じている。

「力づくでやらせるのではなく、自発的に学ぶこと。そして学んでよかった、おもしろかったと思ってもらえるような心がけていますが、うまくいく日もあれば失敗する日もあります。でもこの歳になっても楽しいですよ、授業が」



お仕事アイテム

朝礼の原稿

毎週土曜日の朝礼では「漢詩・漢文の名言」と題して、例えば「春眠暁を覚えず」など、季節や生活に即した言葉を紹介するビデオを放送しています。原稿をつくるのは楽しく、また苦しい作業です。



自分の体を使った仕事を確かなものと信じて

江戸の昔、相模国の霊峰・大山への参詣道として栄えた大山街道。その街道沿いに店を構える飯島商店は、飯島悠光さんの祖父が始めた金物店だ。

「いまは建築金物が中心で、工具や材料を職人さん相手に売る仕事だね。お宅に来てよかった、探していた品物があったよと言われることが、商売やっていると嬉しいことだね。人とのつながりの中で自分が磨かれて、役に立てればいいよね」

常時置いてある商品の数は、ざっと見積もって1万5千点。1cmに満たないネジから鉄板などの建築資材までを扱い、その品揃えに圧倒される。

「商品の管理はパソコンではやってないんだ。商品の棚を朝晩、手作業で確認していく。目と手で確認した方が確かだと思っているんだ」

現在は本業のほかに、溝の口小学校校友会会長としての仕事も加わった。一期生である飯島さんたちの頃は児童数も少なく、先生が受験勉強を見てくれるなど結びつきも強いと言う。学校はなくなってしまったがその名を知ってもらおうと、「文教大学付属溝の口小学校校友会」として来年の冬には大山街道フェスタに参加する。

飯島 悠光さん

いいじま ひろみつ
株式会社飯島商店代表取締役
立正学園溝の口小学校
1957年卒業



お仕事アイテム 秤

ネジやビスなどの細かいものを測るのに、秤は欠かせないね。うちでは電子秤でなく、旧来のものを使っているよ。左は天びん秤、右はカウンティングスケールという個数を測れる秤なんだ。



サファリパークから「街の獣医さん」へ。大切なのは飼い主との信頼関係を築くこと

生まれも育ちも品川区旗の台。母親とその姉妹も揃って立正学園の卒業生ということもあり、古谷さんも当然のように立正幼稚園へ。「母親と離れるのが嫌で毎日泣いていた」ほどの甘えん坊だったが、当時から立正幼稚園では動物の飼育に力を入れていたため、園内にいるウサギと戯れる楽しさを知った。「あれが動物好きになる原点だった」と振り返る。いつしか野性動物に関わる仕事がしたいと思うようになり、大学の獣医学部で学んだ後、宮崎県のサファリパークに獣医師として勤務。やがて、データの蓄積やエビデンス(証拠)に基づく小動物医療の奥深さに惹かれ、地元に戻り動物病院を開業することに。獣医と



古谷 隆俊さん

ふるや たかとし
古谷動物病院院長
立正幼稚園
1960年卒業



して心がけているのは、「何よりも飼い主さんとの信頼関係を築くこと」だと言う。「人と話すのはあまり得意ではないのですが、動物を介すると不思議と楽しく話せるんです」と笑う。「飼い主さんには治療の根拠や方法について丁寧に説明することが大切。対応出来ない治療に関しては、ここを入口に大学病院や専門医とも連携して対処します」この街で開業して今年で30年。近年は区の小中学校での動物飼育支援活動も積極的に行い、生徒の前で講義をすることも。「子どもたちに獣医になってほしいとまでは望みませんが、せめて動物を嫌いにはならないでほしい。そして、飼った以上は後悔してほしくない。これが獣医師としてのささやかな願いです」

お仕事アイテム 聴診器とカルテ

獣医師に欠かせないものです。ボールペンはアメリカ最古の文具メーカー・クロスの多機能ペンを愛用中。自分のネーム入りを常に数本ストックするほど気に入っています。



**【特集1】
恩師便り**
先生!
お久しぶり
です

かつて文教大学学園で教壇に立っていた懐かしい恩師の方々の近況をお伝えします。今もお元気な姿と、その元気の秘訣、文教時代の思い出を語っていただきました。

七十、八十歳になった
教え子たちとの交流が続く



鈴木 照男先生

すずき・てるお◎大正13年生まれ。昭和22年立正学園中学校・高等学校に地理及び生物の教員として赴任。昭和42年女子短期大学部に移転、同時に大学にも出講。文教大学女子短期大学部名誉教授。平成7年退職。



「爽快」だった約50年の文教生活

一昨日、江ノ島の岩本楼で昭和39年度高等学校卒業生のクラス会があり出席してきました。昔乙女も古希をむかえおばさんに変身、18名程集まりました。再会すると同時に戻ってしまうから愉快です。僕も最近足が弱まり、遠出をしないことを知っている80の坂を越えた教え子のグループが時折訪ねてくれる、大変有難いです。(僕は90歳、教え子は80歳(笑))。昔から「山椒は小粒でもピリッと辛い」といわれていますが、この言葉は学園を表徴していると思っています。学生も素朴で親しみやすく僕も爽快でした。教員最後の10数年間は、学生部長・寮監や更に日本私立短大協会学生指導分科会委員などの仕事も加わり極めて多忙でしたが、学生生活の全般にふれあうこともでき大変充実した時期でした。退職後は講演会とその準備に追われ、忙しいながらも、案外楽しく暮らしていました。最近ではテレビで特殊な環境や地域の番組を見つけると録画して楽しんでいます。地理の教師をしている息子はその資料を授業に利用しているようです。

当時の思い出 終戦直後から、地理班は会津などの巡検を行い、生物班も東京医科大学の人体解剖見学に出かけるなど(右の写真はその時のもので僕は後列中央)活発に活動しました。左は昭和44年頃短大生の浅間山周辺調査時、下は高校二年生の関西旅行時の写真です。



百歳まで生きる!
毎日のジョギングが元気の秘訣



松澤 信祐先生

まつざわ・しんすけ◎昭和9年生まれ。昭和52年文教大学教育学部初等教育課程国語専修赴任。助教授を経て昭和60年教授。平成16年退職。平成16年からは8年間中国河北大学に赴任、文教大学名誉教授。

教え子の活躍は教師としての誇り

平成16年に退職し、その後は依頼があつて中国の河北大学外国語学院の日本語学科に単身で赴任。平成24年に帰国し、以来悠々自適な生活です。100歳まで生きる覚悟なんです(笑)。ジョギングと体操は20年近く続けていて、体重は若い頃と変わりません。快便、快眠、快食の無病息災です。日々折々の出来事は俳句に詠むのが長く習慣になっていて、毎日の日記の冒頭に書き付けています。

でも、なんといっても元気の秘訣は、卒業生たちとの交流でしょう。今でも毎年500人の教え子たちと年賀状をやりとりしていますし、彼らの活躍や近況を知ることが教師として一番うれしいことです。僕はコンパばかりやっていて優秀な教師ではなかったけれど、教え子たちは大手出版社の重役、大学教授など社会に出て立派な仕事をしています。現在の副学長の近藤君も教え子。自分を追いついていく教え子が生まれるということは、教師としての誇りです。僕ね、文教にいて嫌な思いをしたことないんです。学校にいて楽しくなってしまう、そんな時代を思い出します。



当時の思い出 教育学部初等教育課程国語専修は通称「初国」。僕がつくった「初国讃歌」は国語専修の乾杯の掛け声として今も受け継がれているそうです。乾杯をしている僕の写真と詞を貼り合わせたものを教え子が送ってくれました。(右側の大きな紙)

人間愛のまなざしで
子どもたちと関わった日々



内藤 善康先生

ないとう・よしやす◎昭和3年生まれ。昭和26年立正学園小学校設立に関わる。昭和52年付属高等学校教諭。平成元年文教大学付属中学校高等学校の校長に就任。幼稚園長と小学校長も兼任。平成9年退職。

幼稚園から短大まで、教育に携わり続けた46年間

本当は高校の教員になりたくて免許も取ったのですが、昭和26年、立正学園小学校設立時に設置事務と教員に携わることになりました。以来46年間、平成9年まで、幼稚園・小学校・中高・短大と学校教育一筋の人生を歩んできました。子どもが大好きだったので、小学校の教員時代の楽しい思い出がたくさんあります。小学校の2年生26名を連れて千葉・浜金谷の臨海学校に行った時のこと。子どもとふれあう生活が楽しいとはいえ、宿泊を伴う行事はさすがに大変です。そこに当時、午後に教えていた高3の女生徒たちが突然訪ねて来て、子どもたちの面倒を見てくれました。子どもたちは大喜びで、星空の下で歌い踊ったひときは今も鮮やかです。子どもたちは野外活動が大好きなので、毎週日曜ごとに遠足へ出かけました。今でいう野外学習のはしりです。ある時、田んぼで獲ったヤゴやザリガニ、メダカを水槽に入れて飼育しようとしたところ、翌日いちばんに登校した児童たちが大騒ぎ。水槽の中は生存競争の場と化していたのです。これには私もあ然としながら、みんなでお墓をつくりました。教育の基本は人間愛ですが、

はたしてその愛は人間だけに向けられるべきものなのか。子どもたちとの関わりのなかで、そんなことも考えさせられました。今、私は実家である山梨県のお寺に戻り、住職としてのお勤めを果たしながら、趣味の絵を描くために世界各国へ旅に出るのが楽しみです。

当時の思い出 昭和26年、設立したばかりの小学校の児童を連れて観音崎へ秋の遠足に行った時の一枚。僕が24歳の時です。「なっとう先生」のあだ名で呼ばれていましたね。



「やりとげた」という充足感から
第二の人生を謳歌



竹内 知恵子先生

たけうち・ちえこ◎昭和41年立正幼稚園に赴任。昭和46年に一時退職し、昭和53年に再び立正幼稚園に復職。平成17年副園長。平成23年退職。

友人、教え子、地域の仲間とのつながりの中で

無限大の可能性を持った子どもたちは、いじくりまわさないが一番大切だと思いますね。大人の型にはめない、子どものやることを尊重し、あとは見守るだけ。そうやって子どもたちと接してきました。21歳から働いてきて、幼稚園しか知りませんからね。退職したら、淋しくなってしまうのではないかと考えていたんです。ところが「やりとげた」という充実感っていうのでしょうか。それがあつたのですから、逆に責任ある立場から開放されたことがうれしくて、今は第二の人生を謳歌しています。

習い事はピアノ、コーラス、声楽を退職してから始めました。また旅行にもよく行くようになりました。地元には、幼稚園から一緒の友達が7人もいるの。何にも替えられない、貴重な友達です。5月には70歳になるのを記念して、四国一周の旅行に出かけました。やはり1人では生きていけないし、仲間や人とのつながりが大事。幼稚園の卒業生や父兄の方たちも誘いの声をかけてくれますし、ありがたいなと思いますね。

当時の思い出 「歩き遠足」で芋掘りに行った時の写真です。一番左の子は、いま文教大学付属小学校の5年生。ピアノが上手で、7月に「若い芽のコンサート」※で演奏するんですよ。案内をいただき、今から楽しみにしているんです。



※若い芽のコンサート：将来有望な若い演奏家の育成と芸術文化の振興を目的としたコンサート

らいふ ぷらす

現在、文教大学学園にて教鞭をとる
3名の先生にご登場いただき、
それぞれの専門分野について、
私たちの暮らしに役立つ知識や
考え方をご教授いただく
コーナーです。



01

Life Style
ライフスタイル



仕事と育児の 両立について ～「ママ」だけでは、 もったいない!!～

この数十年で、育児をしながら働く女性が増えてきました。かくいう私もその一人です。小さい頃からの「小学校教師」という夢を叶え、結婚をし、子供にも恵まれました。今でこそ、子供達が大きくなり多少手が離れましたが、年子の子供を抱えての仕事復帰は、大変でなかったと言え嘘になります。やはり、一番辛かったのは熱を出している子供の看病をしてあげられなかったことです。両家の母、主人、シッターさんと、あらゆる手を使い、仕事から帰って片っ端から電話をかけて、明日の子供の看病の依頼をした事は、一度や二度ではなく、今でも忘れられません。

そんな日々を越えて、今、仕事と育児の両立に悩んでいる女性、または、真っ只中にいる女性に伝えたい事。それは「頑張りすぎないで」という事です。仕事も、家庭もどちらも大切です。大変な時は、是非周りの方々に甘えてください。どちらも完璧でなくて良いのです。仕事で得た幸せエネルギーは家庭に持ち帰り、また、家庭で得た幸せエネルギーは仕事で活かしてください。そしてお世話になった周囲の方々に感謝をし、いつか自分の職場に同じような立場の女性がいいたら、私が助けてもらったように、助けてあげたいと思っています。

育児に追われ、目まぐるしく過ぎ去った日々が、愛おしく感じる日がきつってくるでしょう。その時まで、お互い頑張りましょうね!!



古川 弘美
ふるかわ・ひろみ
文教大学
付属小学校 教諭

文教大学付属高等学校から文教大学教育学部初等教育課程国語専修に進学し、現在、文教大学付属小学校で研究主任、学年主任、2年生担任をしています。中学校1年生、小学校6年生の2児の母。

佐伯 ユミ

さえき・ゆみ

文教大学
付属幼稚園 教諭



新潟県出身。田舎育ち故に山歩きが大好き。山野草にも興味あり。モットーは「自然体」、はやり言葉で言えば「ありのままに。」

この仕事に長年携わって思うことは、今も昔も変わらず、「子ども達は遊ぶことが大好きである」ということ。遊びの内容は世の移り変わりにより変化し、子どもの遊びは社会の鏡のようなところもありますが、本質的なところは変わりなく、ままごと、砂あそび、古くからあるわらべうた遊びが大好きです。お手玉、あやとりなどにも興味を示し、やってみせると手にとって遊んでいます。そして、遊びからたくさんのことを学び取っており、「遊び」の二文字ですが、とてつもなく大きく深い言葉であると思います。

スピード時代の昨今、じっくりと遊ぶゆとりがなくなっているのが心配です。だからこそ、心してその時間を作ってあげる必要が私達大人にはあるのではないのでしょうか。

この秋には三代目となる新園舎が完成し、そこでの生活がスタートします。子ども達が生き生きと遊びに熱中できるよう見守っていきたいと思っています。



03

Wellness
健康

スポーツライフの再考 ～ウエルネス的健康～



今日は、高齢化の到来と生活習慣病が蔓延し、またストレス等による社会不適応などが顕在化する社会です。益々、人々の健康に対する意識は、高まり、運動やスポーツの領域においてもニーズが高まってきています。そのような現代社会において、スポーツライフの再考が必要です。

新しい総合的な健康の概念であるウエルネスとは、自分の人生には自分で責任を持つことを知り、より幸福でより充実した人生を送るために、自分の日頃のライフスタイル(生活習慣)を点検し、自分で変えなければならないことに気づき、これを変革し続けていく過程です。まさに「ウエルネスライフ=豊かな人生を楽しく過ごす」が求められている社会であるといえます。

運動・スポーツを健康の手段として捉える考え方は、健康づくりにおける運動・スポーツの重要性を学ぶこととなりますが、その効果や効能ばかりに注目が集まる傾向にあります。「自分の好きなスポーツを生涯に渡ってやりたいがために健康でありたい」へ価値観をシフトすることがライフスタイルの変容には、望ましいことであると思います。スポーツライフ再考(最高)!

宮田 浩二

みやた・こうじ

文教大学
人間科学部人間科学科
学科長 教授
日本ウエルネス学会
副理事長



1962年、城下町、松江市生まれ。文教大学では、健康・スポーツ心理学、スポーツカウンセリング、ウエルネスライフ論等を担当。スポーツライフ(スキー、ゴルフ、テニス等)を楽しんでいます。

02

Education
教育

昔も今も…。

[特集2]

～文教今昔物語～

おもいで 学舎 越谷編

現在の出津橋



鉄骨になった橋の上を、学生たちが
キャンパスへと向かって行きます。



橋の下には
アヒルの親子
の姿も



元荒川に架かる出津橋



写真は1976年頃の様子。
当時は木造でした。

1962年の日比谷線との
直通運転開始をきっ
かけに、東武鉄道初の
橋上駅となりました。



1981年頃の北越谷駅



青春時代を過ごした懐かしい学舎。
今もなお変わらずに残る建物や、
すっかり変わってしまった街の様子など、
今昔の写真を通して、それぞれの思い出を
振り返ってみてはいかがでしょうか。

現在の北越谷駅



高架になった北越谷駅。
続々と文教生が出てきます。

今も残る仙石湯

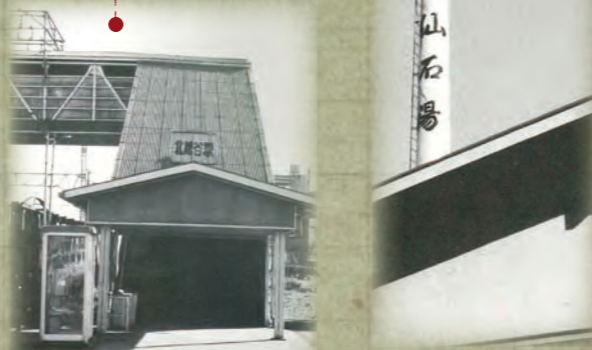


創業当時から変わらぬ煙突。
隣に建つマンションが
時の流れを感じさせます。

北越谷駅前の仙石湯



1967年頃に創業した銭湯。
下宿の学生さんが多く
利用していました。



越谷キャンパス



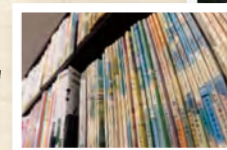
正門から3号館(1997年竣工)を望みつつ登校。



お昼になると
やって来る
手作りパンの
移動販売



現在の図書館



豊富な蔵書の中
には貴重な
昔の教科書も



1981年の開館以来、
一般の方にも開放され、
親しまれています。

旧図書館



図書館移転後も研究室棟と
して使用されていましたが、
1997年、シンボルの時計塔
とともに解体されました。

現在の体育館・プール



1995年竣工の体育館。
近代的なデザインです。
反対に6号館前のプール
は昔と変わらず。



古暮書店



教育書中心の日野屋書店と一般書中心の
古暮書店。よく利用されていましたが、
ともに現在はなくなってしまいました。

旧体育館



正門入って左手の体育館は、授業以外
に入学式や卒業式でも使われました。

談話室



北越谷駅前にあった喫茶店。
あの頃は喫茶店で長時間
過ごしていました。

家政学部の授業の様子



写真は立正女子大学
家政学部の頃。
食品栄養学実験実習室にて。



[特集2]

～文教今昔物語～

おもいで 学舎 湘南編



現在の茅ヶ崎駅



現在の湘南台駅



湘南キャンパス開学と同じ1985年に今の駅舎と「茅ヶ崎ルミネ」(現ラスカ)ができました。発車メロディーはサザンオールスターズの「希望の轍」です。

どちらの駅からもバスで通います



現在の文教生は7:3で、茅ヶ崎駅より湘南台駅の利用の方が多いです。現在の湘南台駅は、小田急線、相鉄線、横浜市営地下鉄の3路線が乗り入れ、全て地下へ。

昔の湘南台駅(東口)



まだ橋上駅だったころの湘南台駅。小田急線も地上を走っていました。

女子短期大学部があった頃は、満員のバスの乗客のなかに男性がたった3人だったことも。



大学と駅を結ぶ神奈中バス

湘南キャンパス



中庭に隣接する建物は変わりませんが、モミジパフウはだいぶ大きくなりました。

昼休みに賑わう学食



今年、学食メニューがすごく変わりました！かなり美味しくなりました。



学食の人気メニュー

- ◎ふわとろオムライス
- ◎チキン南蛮
- ◎唐揚げ丼

湘南校舎工事中



1985年4月の開学をめざし急ピッチで進む工事。

昔の学食



B定食やドライカレーが人気でした。当時、学食が唯一社交の場でした。

キャンパス内を歩き交う学生たち



シンボルの文教富士は健在。皆さん、登ったでしょ！

2限の教室はどこだっけ？

コンピュータ教室で演習だよ！



スタジオ



スタジオ機器も全てデジタル化。3D映像も撮れますよ。



コンピュータ教室とメディアパーク



コンピュータ教室は各号館に設置。2000年竣工のメディア棟には学生がいつでも自由に利用できるメディアパークがあります。

情報学部広報学科の授業の様子

テレビ・ラジオスタジオでは、番組の制作実習が行われていました。



栄養士の資格取得を目指し、実習にも力が入ります。

女子短期大学部栄養科の授業の様子



湘南キャンパス開校当時のPCルーム

Windowsもインターネットもない時代。一人一台のパソコンでプログラムを学びました。フロッピー、懐かしい！





文教大学学園

校友会の輪

2012年に発足した「文教大学学園校友会」は各校校友団体の連合体です。校友同士の輪(和)の形成を目指しています。藍蓼会から父母と教職員の会までの特別校友団体に、新たに設立された3団体を加えた10団体を紹介します。

新団体 文教大学ビジネス同友会



当会は昨年5月に発足、文教大学学園OBの親睦団体です。企業人や公務員、マスメディアそして起業自営者ほか。様々な職種で活躍する会員は、20代から50代まで、短大を含めた全学部の卒業生に亘ります。OBであれば誰でも参加できます。相互の交流から新しいビジネスが生まれ、転職や再就職の芽を掴んだりできる、「今、みな一人ひとりにメリットがある」場にしたいと思えます。懇親、情報交換、在学生支援…集まれ文教OB!

- 会員数：約150名(急増中)
- 問合せ先：〒142-0064 東京都品川区旗の台3-2-17 ☎04-7145-5036 (担当・中島) ✉bunkyo.bd@gmail.com

新団体 文教大学学園退職職員の会

退職職員の会は2014年5月に発足しました。文教大学学園(旧立正学園)の職員であった事の喜びと誇りと榮譽を持つとともに会員相互の親睦を図ることを目的に退職した職員有志にて発足しました。主な活動内容は、定期総会・名簿管理・ニュース発行・懇親会開催・長寿者へ記念品贈呈などですが、各校の行事(学園祭など)への参加、学園行事への参加も積極的に実施予定です。発足1年目でしたから2014年度の活動はありませんでした。



- 会員数：58名
- 問合せ先：〒146-0085 東京都大田区久が原1-32-2 ☎03-6410-9943 (担当・鈴木)

新団体 文教森の会 旧文教大学付属幼稚園(越谷)同窓会



▲第2回文教森の会…手作りの「段ボール積み木」で家造り

2013年11月に立ち上げた同窓会は、3世代が楽しめるようにと、毎回テーマを決めています。第1回は「1日幼稚園」、第2回は「思い出から未来へ」。そして第3回は「大人が楽しめる活動」です。この5月末に「元荒川土手にてオリエンテーリング」を行いました。手作りの活動がぎゅぎゅ詰まった魅力ある同窓会にぜひご参加ください。

- 会員数：57名
- 問合せ先：〒332-0035 埼玉県川口市西青木2-4-41-510 ☎048-252-1757 (担当・林) ✉fmk.61012@aa.cyberhome.ne.jp ✉anokoro-630@i.softbank.jp

特別校友団体

文教大学 藍蓼会

昨年度は6月の定期総会から始まり、夏には島根県での石田学園長教育講演会、秋には越谷キャンパスホームカミングデーと大学共催イベントも目白押し。その間に沖縄県支部設立や7県支部での会合、OB・OG会、クラス会など27団体の会員交流や研修会が盛んに行われました。また、校友会の協力により、かねてから要望のあった藍蓼会DVD「文教今昔物語」も完成。大変好評を得ました。全国各地の卒業生の絆を力に、今年度も活動開始です。

- 会員数：37,985名
- 問合せ先：[藍蓼会事務局] 〒343-8511 埼玉県越谷市南荻島3337 ☎048-974-8811 ☎048-979-6644 ✉aitade@www.bunkyo.ac.jp http://www.bunkyo.ac.jp/etc/aitade/



文教大学女子短期大学部 芙蓉会

芙蓉会は、会報やホームカミングデーなどを通して、今まで会員相互の絆を大切にしてきました。今年は聳塔祭、文教大学ホームカミングデーに参加し、これから学園の発展を願い寄与できますよう活動を進め、さらにふれあいの「輪」と「和」を大切に広げてまいります。新たな芙蓉会の創(はじめ)りです。

- 会員数：30,157名
- 問合せ先：[芙蓉会事務局] 〒253-8550 神奈川県茅ヶ崎市行谷1100 ☎0467-52-4075 ✉fuyou@www.bunkyo.ac.jp http://www.bunkyo.ac.jp/etc/fuyou/



文教大学 経営情報専門学校 翔華会

13年間の短い歴史をもって1998年3月に経営情報専門学校は閉校しました。同時に記念誌「翔」を発行しこの会の活動は休止しています。卒業生は仕事にプライベートに忙しい世代です。時間に余裕ができ、再び「翔」ける日まで充電中です。

- 会員数：2,842名
- 問合せ先：✉arao@stf.bunkyo.ac.jp (担当・荒尾)



文教大学付属高等学校 三蓉会

三蓉会では、卒業生の皆さまに喜んでいただけるような楽しいイベントを企画して、いつでも皆さまをお待ちしています。更に新校舎とともに生まれ変わってゆく付属校を応援すると同時に、学園の発展に寄与していきたいと思っております。

- 会員数：22,915名
- 問合せ先：[三蓉会事務局] 〒142-0064 東京都品川区旗の台3-2-17 ☎03-3784-0524 ✉sanyokai@hatanodai.bunkyo.ac.jp



文教大学付属(溝の口)小学校校友会

昨年7月27日の高津区民祭にブースを開き、情報交換のほかにジャガイモのつかみ取りを実施しました。また、本年2月22日には、大山街道フェスタにも出店し、校友生やご両親が尋ねて来られました。

- 会員数：547名
- 問合せ先：☎042-377-7717 ✉tomi-jun@cream.plala.or.jp (担当・富永) http://www.yannet.biz/bunkyo-koyukai/ (文教大学付属溝の口小学校校友会で検索)



文教大学付属小学校同窓会

2008年10月に矢野元校長先生の熱い想いととも発足された小学校同窓会も今年で7年目を迎えます。会長・副会長の顔ぶれも変わり新体制となり、2クラス化へと大きく変貌する小学校を多方面から支援しています。

- 会員数：2,149名
- 問合せ先：〒145-0065 東京都大田区東雪谷2-3-12 ☎03-3720-0792 (同窓会専用) ✉besrc_2008@yahoo.co.jp



文教大学父母と教職員の会

本会は、来年創立40周年を迎えます。保護者と教職員が緊密に連絡・協力して、文教大学の発展・向上に寄与することを目的とした会です。全国46支部での総会・研修会、学生の諸活動や生活及び就職対策支援、100円朝食の共催等様々な活動をしています。

- 会員数：8,778名(正会員・在学生)、368名(教職員会員)、100名(賛助会員)
- 問合せ先：[父母教越谷事務局] 〒343-8511 埼玉県越谷市南荻島3337 ☎048-974-8811 [父母教湘南事務局] 〒253-8550 神奈川県茅ヶ崎市行谷1100 ☎0467-53-2111 ✉fubokyo@stf.bunkyo.ac.jp http://www.bunkyo.ac.jp/etc/fubokyo/

ホームページ 充実を図る 支部長研修会



日々着々と進化していく文教大学学園のタイムリーなニュースをお届けします！

文学部卒業生の高橋弘希さんが 芥川賞・三島由紀夫賞の候補に選ばれました！！

文教大学文学部卒業生 高橋弘希さんの小説「朝顔の日」が、第153回芥川賞(2015年7月16日発表)の候補作品に選ばれました。

また、前作「指の骨」は、2014年10月1日に第46回新潮新人賞(新潮社が主催する純文学の新人文学賞)を受賞し、第152回芥川賞(2015年1月15日発表)と第28回三島由紀夫賞(2015年5月14日発表)の候補作品に選ばれました。



「のじのじくん」LINEスタンプ販売中

学長イメージキャラクターの「のじのじくん」がLINEスタンプになりました。色々な場面で使えるスタンプを40種類用意しています。ぜひ使ってみてください！

【スタンプ名】文教大学公式キャラクター「のじのじくん」
<https://store.line.me/stickershop/product/1131810/ja>

「あやなり」 Webサイトが完成！

「あやなり」のWebサイトができました！特集企画では、新設された「文教大学ビジネス同友会」の竹内氏(光文社勤務)と野中氏(集英社勤務)による対談を掲載。マスコミ業界を牽引してきたお二人の熱い仕事論に触れることができます。他にも、誌面には掲載しきれなかった文教人や恩師の方々のエピソードが満載！ぜひご覧ください。

<http://www.bunkyo-ayanari.jp>



「文教大学教育フォーラム2016」のお誘い

教員や教育関係職に就く卒業生が、集い、語り、助け合う、「文教大学教育フォーラム」を設立・開会しました。昨年度の集会では「道徳教育」について一緒に考えました。次回は2016年2月20日(土)、テーマは「いじめ問題」、12月にHPと藍蓼会会報に同封する文書でご案内します。

<http://www.bunkyo.ac.jp/etc/bkforum/>

各校舎建て替え中

2017年に文教大学学園は創立90周年を迎えます。これを記念して、学園は耐震性にも十分配慮した各校舎の全面リニューアルを行うとともに、競争力のある教育環境の整備事業に取り組んでいます。



石川台キャンパス(附属小学校)

2014年10月に、附属小学校の新校舎が完成。施設の安全性・耐震性の確保、高度化・多様化する教育内容の変化にも柔軟に対応できる機能的な施設となりました。



旗の台キャンパス(附属中学校高等学校、附属幼稚園)

2014年3月に西棟・中央棟が完成し、2015年8月には東棟・幼稚園舎が完成予定となっています。2016年7月の全体完成を目指し、耐震改築等整備事業が順調に進行しています。



講堂



中央棟



正門

文教大学学園が 大学新キャンパス用地を 足立区花畑に取得

学校法人文教大学学園は、2015年3月25日、独立行政法人都市再生機構(UR)との間で、同機構が東京都足立区花畑に保有する土地約47,300㎡の譲渡に関する契約を締結いたしました。今後同地に文教大学の新キャンパスを開設するとともに、学部等の再編や教育プログラムの見直し等による教育力の抜本的強化に努め、社会からの期待に一層応えていく所存です。

夏休み! 手元に溜まった本を寄附しませんか? 文教大学学園 古本募金

皆さまに頂いた本・CD・DVD・ゲームソフトの査定金額を寄附し文教大学学園を支援する取り組みです。5点以上ならば送料は当プロジェクトが負担いたします。

詳細は [WEB](#) を御確認ください。

[文教大学学園 古本募金](#)



Information

卒業生が参加可能なイベントがたくさん開催予定です。ふるってご参加ください。

文教大学 藍蔦会・文教大学女子短期大学部 芙蓉会

●ホームカミングデー

2015年11月28日(土) 場所:文教大学湘南キャンパス

学生時代を過ごした懐かしいキャンパスで、母校の今に触れるとともに、懐かしい恩師や学友との再会、交流、親睦を深める機会として活用いただきたく、ホームカミングデーを開催します。今年は湘南キャンパスでの開催となります。(隔年で、越谷キャンパスと湘南キャンパスで開催しています)。ぜひご来場ください!

文教大学女子短期大学部 芙蓉会

●聳塔祭

2015年11月7日(土)

場所:文教大学湘南キャンパス

喫茶「芙蓉」出店。「茶道体験～お抹茶点ててみませんか～」



ミニバザーも開催

文教大学附属高等学校 三蓉会

●白蓉祭(文化祭)

2015年9月12日(土)～9月13日(日)

場所:旗の台キャンパス

●三蓉会同窓会

2015年10月25日(日)

詳細は
三蓉会会報を
ご覧ください

●中学・高等学校 授業公開デー

2015年 9月26日(土)

11月30日(月)

12月1日(火)

12月2日(水)

2016年 1月23日(土)

11:00～12:20

(受付11:30まで)

場所:

旗の台キャンパス

文教大学附属(溝の口)小学校校友会

総会、大山街道フェスタとともに、案内葉書発送予定のほか、ホームページにも詳細を掲載いたします。ふるって、ご参加願います。

●校友会総会 2015年11月15日(日) 14:00～16:00

場所:レストラン「ポモドーロ」

神奈川県川崎市高津区溝口1-9-6

●大山街道フェスタ(出店参加)

2016年3月6日(日) 場所:大山街道 溝の口～二子

文教大学附属小学校同窓会

●バザー(父母の会主催)

2015年10月3日(土)

場所:文教大学附属小学校

文教森の会(旧文教大学附属幼稚園(越谷)同窓会)

●第4回「文教森の会」(総会・クリスマス会)

2015年12月6日(日) 場所:越谷キャンパス

歌&ゲーム、クッキー作り、昼食会、総会と盛りだくさんです!(詳細は、9月頃に広報誌にてお知らせします)



編集後記

●昨年7月に創刊いたしました「あやなり」は、この度第2号を発行する運びとなりました。第2号は、皆さまから頂きました創刊号のアンケート返信を基に、制作させていただいております。これからも、卒業生の皆様にお楽しみいただける広報誌を目指して参りますので、読みたい記事など、御意見をどんどんお寄せいただけますと幸いです。(浜田・西村)

※送付先住所は、各校友団体の協力を得て最新のデータで送付しておりますが、旧住所や宛名間違い等がございましたらご寛恕ください。その場合は御連絡いただけますと幸いです。

※「文教人」の卒業生数は、本学園創立から2015年3月までの、各校の卒業生数を集計したものです。複数校を卒業している方の「名寄せ」は行っていないのでご了承ください。また、附属中学校高等学校については、高等学校卒業時点でカウントしています。

あやなり

文教大学学園卒業生向け広報誌
2015.7.31 第2号

発行:文教大学学園
編集:経営企画局校友会室
制作:文化工房

〒142-0064 東京都品川区旗の台3-2-17
TEL:03(3783)5511(代)
FAX:03(3783)6109
E-mail:alumni@stf.bunkyo.ac.jp